

時計ブランド「MOVADO（モバード）」より

『Museum Classic（ミュージアム クラシック）』が2018年6月に新登場！

栄光時計株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：平野 雅彦）は、「MOVADO(モバード)」の新作モデル『Museum Classic（ミュージアム クラシック）』を2018年6月より全国のモバード正規取扱店にて発売いたします。

『Museum Classic』は、1947年にバウハウスの影響を受けた芸術家ネイサン・ジョージ・ホーウィットがデザインした腕時計を継承しており、12時位置にある正午の太陽を象徴したひとつのドットだけのシンプル且つアイコンックなコレクションです。



今年の新製品は、SSケース×ミュージアムダイアルの美しさを引き立てる繊細なメッシュプレスレットタイプと、SS（ブラックPVD加工）ケース×ダークブラウンレザーストラップのコントラストが際立つ2タイプです。日本人男性の腕にジャストフィットな40mmのラウンド型ケースに、フラットなサファイアクリスタルのセッティングがモダンな印象を際立てています。



M0607198.8903L



M0607219.8103S

【商品概要】

価格（税別）	（右）： ¥75,000（レザーストラップ） （左）： ¥95,000（SSメッシュプレスレット）
ケースサイズ	径40mm
ムーブメント	クォーツ
防水性	3気圧防水
ダイアル	ブラック
発売時期	2018年6月発売

【MOVADO（モバード）について】

卓越したデザインと独創的な発想で“たゆまぬ前進”を続けるブランドモバード。

湾曲したケースに合わせて三面で構成するムーブメントを搭載した「ポリプラン」、爆発的な人気を博したポケットウォッチの「エルメト」など初期の代表作から、黒の文字盤と12時の位置に金色のドットだけのシンプルな「ミュージアム ウォッチ」、新世紀を見据えた近未来フォルムの「ビジオ」、ポリプランを現代風にアレンジした「エリプティカ」。さらに、アンディ・ウォーホルなどのアーティストを起用したシリーズでは、彼らのクリエイティブな発想とモバードのウォッチメーカーの伝統とのコラボレーションが、数々のアートウォッチを世に送り出してきました。

WEBサイト：www.eikotokei.co.jp/brandsite/index/index/id/6

MOVADOブランドサイト：www.intl.movado.com/